

半島地域にみる 世界農業遺産の可能性

半島地域では地域特有の資源を活かし、課題解決をはかる多様な活動が行われてきている。こうした取り組みに大学はどのように関わり、役割を発揮していくのか。

趣旨

本フォーラムでは、和歌山大学・静岡大学の研究・取り組み事例を持ち寄り、持続的な地域づくりの拠点・プラットフォームの構築にむけた情報共有と連携をはかってきた。これまでの取り組みの中には、「条件不利地域の課題解決」ではなく、都市圏を含めた他地域にも波及しうるような、先進性や可能性を秘めたものが多く見られている。

そこで6回目となる今回のフォーラムでは、「過去の遺産」ではなく、環境変化に適応し進化し続ける「生きた遺産」として保全・継承することを目的とした「世界農業遺産」に焦点をあてる。2025年度に和歌山県有田・下津地域が石積み階段園みかんシステムとして、世界農業遺産に登録された。全国で17地域が認定されているが、県内で2地域が認定されている都道府県は、和歌山県と静岡県のみであり、今後どのような展開可能性を有しているのか、行政等の地域等を交えながら議論する。

2026

2.19 木

13:30 ~ 17:00 (予定)

※開場 13:00

参加無料・要事前申込

開催方法

和歌山大学（和歌山市栄谷930）
西4号館T-101とオンラインのハイブリッド開催

対象

一般市民、大学関係者

定員

対面 100名(先着順)

オンライン 100名(先着順)



【参加申込】
QRコードまたはURLから、
2月18日(水)までにお申込
下さい。

<https://forms.office.com/r/upQiwJ7YJc?origin=lprLink>

問合せ

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930

☎ 073-457-7127 ✉ region@ml.wakayama-u.ac.jp

主催

国立大学法人 和歌山大学

共催

国立大学法人 静岡大学

プログラム

| | | | |
|-------------|--|----------------------------------|-------|
| 13:30~13:40 | 開会挨拶 | 国立大学法人 和歌山大学長 | 本山 貢 |
| | ご挨拶 | 国立大学法人 静岡大学長 | 日詰 一幸 |
| 13:40~14:30 | 基調講演 「和歌山県における世界農業遺産」 | 和歌山県農林水産部里地里山振興室 | 岡田 武彦 |
| 休憩 | | | |
| 14:45~16:45 | 研究報告 (各 40 分) | | |
| | 報告 1 「空撮点群情報のオブジェクト指向型樹冠分類と機械学習の併用による混交林におけるウバメガシ個体群の抽出 ～世界農業遺産みなべ町を事例として～」 | 和歌山大学システム工学部・准教授 | 原 祐二 |
| | 報告 2 「イノベーションで拓く茶業の次の一手： ネイチャー・ポジティブと地域価値の再設計」 | 静岡大学農学部・准教授 | 一家 崇志 |
| | 報告 3 「21世紀型ヘリテージとしての畳石式わさび田」 | 一般社団法人 美しい伊豆創造センター ジオパーク推進部部長 | 辻 修次 |
| 16:45~16:55 | 質疑応答 | | |
| 16:55~17:00 | 閉会挨拶 | 国立大学法人 和歌山大学副理事 | 中村 憲司 |